



# 平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	510,893	△3.4	51,456	3.2	42,937	6.1	29,515	67.9
27年12月期第3四半期	529,071	—	49,878	—	40,486	—	17,576	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △18,608百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 12,105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	49.60	47.10
27年12月期第3四半期	29.26	29.13

(注) 平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成27年12月期第3四半期の比較対象となる平成26年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率につきましては該当ありません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	632,021	407,059	55.7
27年12月期	702,601	451,091	55.1

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 351,725百万円 27年12月期 387,195百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	7.40	—	7.40	14.80
28年12月期	—	8.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720,000	△2.5	83,000	3.8	70,000	△1.9	42,000	3.7	71.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	620,834,319 株	27年12月期	620,834,319 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	29,982,739 株	27年12月期	25,131,639 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	595,086,880 株	27年12月期3Q	600,705,237 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年9月30日）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、中国の景気減速懸念、EU離脱に対する英国国民投票の結果等から、先行き不透明な情勢が続くなか、消費者ニーズに合わせたパーソナルケア関連商品の販売促進活動を積極的に実施し、普及促進に努めてまいりました。

一方、国内におきましては、国内外経済の先行き不透明感からの円高の影響でインバウンド消費が力強さを欠くなか、引き続き高付加価値パーソナルケア関連商品の需要を喚起するための新価値提案を実施した結果、安定的な成長を実現いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供しつづけます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、あらゆる世代の人々がお互いに負担を感じることなく、その人らしさを尊重し合いながら暮らせる「共生社会」の実現に向けて取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高510,893百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益51,456百万円（前年同四半期比3.2%増）、経常利益42,937百万円（前年同四半期比6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益29,515百万円（前年同四半期比67.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### ① パーソナルケア

##### ● ベビーケア関連商品

海外では、安心、安全な日本からの高付加価値輸入商品の需要が高い中国におきまして、引き続きインターネット販売の強化と『ムーニー』ブランドの認知拡大に取り組んだほか、パンツタイプ紙おむつの普及促進に努めてまいりました。また、新興国のなかでも紙おむつの普及率がまだ低いインドにおきまして、パンツタイプ紙おむつで普及促進を図りながら販売エリアとシェアの拡大に努めてまいりました。

国内では、ふんわりぴたりでモレ安心の『ムーニーマン エアフィット Sサイズ』に世界初※1の3D設計“ゆるうんちポケット”を搭載し、ゆるいうんちの量が増加するSサイズ期の背中からのモレを低減した商品に改良いたしました。また、ディズニーキャラクターのかわいいデザインとたっぷり吸収の『マミーポコ』ブランドでハロウィンデザインを企画したほか、おねしょパンツ、トレーニングパンツといったサブカテゴリー商品とのリレーション強化とラインアップの拡充を図ってまいりました。

※1 背中に縦横2つのタックを組み合わせた外向きに広がるポケットを設けた紙おむつ。主要グローバルブランドにおけるベビー用パンツタイプ紙おむつ対象（平成27年9月ユニ・チャーム株式会社調べ）

##### ● フェミニンケア関連商品

海外では、中国におきまして、若年層から品質の高さとデザインのかわいらしさに対して引き続き高いご支持を頂いているほか、インドネシアやタイ、ベトナムといった新興国におきまして消費者ニーズに合わせた商品で販売エリアを拡大し、更なるシェアの上昇に努めてまいりました。

国内では、『ソフィ』ブランドでつけていないような心地よさを実現した新感覚スリムナプキン『ソフィ エアfitスリム』が多くのお客様にご満足頂き、高いご支持を頂いているほか、暑い季節でもムレずに快適に過ごして頂けるよう通気性をアップ※1した「涼肌」シリーズを安心の熟睡をサポートする『ソフィ 超熟睡』シリーズと、敏感肌へのやさしさを追求した『ソフィ はだおmoi』シリーズで限定発売し、昼夜を通しての夏の通気性ニーズに応えてまいりました。また、デザイン性とコンパクト形状でご支持を頂いている『センターインコンパクト』シリーズでは雑誌ViViとのコラボレーション企画デザインを“女子史上 最高にかワイイナプキン”として限定発売するなど、女性のからだと心の仕組みを科学的に捉えながら、女性の物理的・精神的な束縛からの開放に努めてまいりました。

※1 既存の『ソフィ 超熟睡ガード』『ソフィ はだおmoi』との比較

## ●ヘルスケア関連商品

高齢者人口の増加により拡大が続くヘルスケア国内市場におきましては、今までどおり自分らしく生活が送れるようにサポートする商品の普及活動に努めてまいりました。尿ケア専用品では「ズボンにしみない、目立たない」工夫をした男性用尿もれ専用品『ライフリー さわやかパッド』シリーズと、吸水ケアを通じて笑顔ある毎日を応援する『チャームナップ』ブランドとともに“軽い尿もれ”は誰にでもあることとして抵抗感を払拭する活動を継続して実施してまいりました。また、介護用品『ライフリー』シリーズとともにテレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて販売促進にも積極的に取り組み、排泄ケア市場をリードしてまいりました。

## ●クリーン&amp;フレッシュ関連商品

クリーン&フレッシュ国内市場におきましては、毛羽立たず、繊維残りしない化粧用コットンとして高いご支持を頂いている『シルコット』コットンシリーズから新発売した日本初※1の極細長繊維でマイクロ汚れまですっきりふきとる“ふきとり用コットン”『シルコット ふきとりコットン シルキー仕立て』が多くのお客様にご満足頂き、高いご支持を頂いているほか、暑い夏を涼しく爽快に過ごして頂けるよう「家中まるごと、これ一本!」のお掃除用品『ウェーブ』ブランドで「ウェーブ 夏の爽快COOLお掃除」キャンペーンとして「COOL CHOICE」※2活動に参画し、CO2排出量削減効果を伝達してまいりました。

- ※1 コットンを覆うシートが二層構造。肌に接する外側層は10 $\mu$ m以下の極細長繊維が形成されている。内側が粗いセルロース繊維で形成されている構造。日本における主要ブランドの化粧綿対象（平成27年10月ユニ・チャーム株式会社調べ）
- ※2 「COOL CHOICE」とは、平成42年度の温室効果ガスの排出量を平成25年度比で26%削減するという目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動

この結果、パーソナルケアの売上高は445,264百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益（営業利益）は47,982百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

## ②ペットケア

人とペットがともに長生きし豊かな生活を送れる「共生社会」の実現に向けて、ペットと飼い主様双方の「健康長寿社会」の実現とセグメンテーションの進化という2大テーマのもと、消費者ニーズを捉えた商品の開発と市場創造に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

国内ペットトイレタリーにおきましては、おしっこの吸収スピードと逆戻りを大幅に改良する「さらふわ吸収シート」を採用※1した『デオシート』ブランドに「トロピカルソープの香り」を夏季限定発売し、香りシートの更なる活性化に取り組んでまいりました。

国内ペットフードにおきましては、スーパーグルメフード『銀のスプーン三ツ星グルメ』ブランドに一箱で4種類の味が楽しめる期間限定フレーバー「季節のお魚セレクト 4種のアソート」を限定発売したほか、テレビコマーシャルを積極的に展開し、高付加価値市場創造に努めてまいりました。

北米市場におきましては、日本の技術を搭載した犬用シートや軽量タイプ猫砂の販売が引き続き堅調に推移したほか、米国初のコンセプトとなる猫用ウェットタイプおやつ『Hartz Delectables』でテレビコマーシャルと連動した消費者テストを北東地域で展開し、今後の更なる成長の準備を進めてまいりました。

- ※1 さらふわ吸収シートは、レギュラー・ワイドへの搭載

この結果、ペットケアの売上高は61,216百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益（営業利益）は3,201百万円（前年同四半期比136.9%増）となりました。

## ③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきましては、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は4,413百万円（前年同四半期比15.1%増）、セグメント利益（営業利益）は271百万円（前年同四半期比54.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は632,021百万円（前連結会計年度比10.0%減）となりました。主な減少は、受取手形及び売掛金△22,892百万円、建物及び構築物（純額）△9,577百万円、現金及び預金△7,958百万円、原材料及び貯蔵品△7,453百万円、のれん△6,319百万円、機械装置及び運搬具（純額）△5,608百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は224,961百万円（前連結会計年度比10.6%減）となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金△11,697百万円、未払金の減少等によるその他流動負債△5,157百万円、未払法人税等△4,383百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は407,059百万円（前連結会計年度比9.8%減）となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益29,515百万円、主な減少は、為替換算調整勘定△38,642百万円、自己株式の増加12,550百万円、剰余金の配当△9,175百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は55.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年8月5日発表と変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	138,503	130,544
受取手形及び売掛金	95,476	72,583
商品及び製品	30,169	31,351
原材料及び貯蔵品	32,499	25,045
仕掛品	1,360	814
その他	33,833	29,533
貸倒引当金	△148	△515
流動資産合計	331,693	289,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,428	66,850
機械装置及び運搬具(純額)	130,254	124,646
その他(純額)	41,125	37,755
有形固定資産合計	247,808	229,252
無形固定資産		
のれん	67,359	61,040
その他	22,468	18,707
無形固定資産合計	89,828	79,747
投資その他の資産		
投資有価証券	23,611	23,279
繰延税金資産	2,195	2,284
退職給付に係る資産	2,160	3,192
その他	5,393	5,001
貸倒引当金	△91	△92
投資その他の資産合計	33,270	33,664
固定資産合計	370,907	342,663
資産合計	702,601	632,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	93,799	82,102
短期借入金	3,846	5,791
未払法人税等	7,667	3,284
賞与引当金	5,514	3,661
その他	57,801	52,644
流動負債合計	168,630	147,484
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	54,421	53,686
長期借入金	10,757	6,969
退職給付に係る負債	5,295	5,493
その他	12,403	11,327
固定負債合計	82,878	77,477
負債合計	251,509	224,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	6,858	5,586
利益剰余金	366,777	387,117
自己株式	△41,101	△53,652
株主資本合計	348,527	355,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,164	7,064
繰延ヘッジ損益	△6	△24
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	33,804	△4,837
退職給付に係る調整累計額	△6,136	△5,363
その他の包括利益累計額合計	38,667	△3,319
新株予約権	276	235
非支配株主持分	63,619	55,098
純資産合計	451,091	407,059
負債純資産合計	702,601	632,021



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	529,071	510,893
売上原価	294,042	273,594
売上総利益	235,028	237,299
販売費及び一般管理費	※ 185,150	※ 185,843
営業利益	49,878	51,456
営業外収益		
受取利息	1,315	2,180
受取配当金	214	150
助成金収入	741	546
未払配当金除斥益	1,048	4
その他	1,622	523
営業外収益合計	4,942	3,406
営業外費用		
支払利息	478	503
売上割引	2,802	1,289
為替差損	10,897	9,039
その他	156	1,094
営業外費用合計	14,335	11,925
経常利益	40,486	42,937
特別利益		
固定資産売却益	40	136
投資有価証券売却益	—	3,659
特別利益合計	40	3,796
特別損失		
固定資産処分損	296	431
特別損失合計	296	431
税金等調整前四半期純利益	40,229	46,301
法人税、住民税及び事業税	9,860	10,764
法人税等調整額	7,395	2,686
法人税等合計	17,256	13,450
四半期純利益	22,973	32,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,396	3,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,576	29,515

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	22,973	32,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,687	△4,099
繰延ヘッジ損益	△97	△41
為替換算調整勘定	△12,787	△48,118
退職給付に係る調整額	330	800
その他の包括利益合計	△10,868	△51,460
四半期包括利益	12,105	△18,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,400	△12,471
非支配株主に係る四半期包括利益	2,704	△6,137

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
販売運賃諸掛	27,752百万円	27,134百万円
販売促進費	87,407百万円	90,261百万円
広告宣伝費	15,607百万円	14,580百万円
従業員給与・賞与	16,462百万円	16,285百万円
賞与引当金繰入額	979百万円	991百万円
退職給付費用	1,598百万円	1,856百万円
減価償却費	2,848百万円	2,373百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得を決議し、普通株式5,717,500株を取得いたしました。これにより当第3四半期連結累計期間において、自己株式が13,999百万円増加しております。

また、ストック・オプションの権利行使による自己株式の処分に伴い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,449百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	463,860	61,377	3,833	529,071	—	529,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	16	16	△16	—
計	463,860	61,377	3,850	529,088	△16	529,071
セグメント利益(営業利益)	48,350	1,351	175	49,878	—	49,878

当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	445,264	61,216	4,413	510,893	—	510,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	25	25	△25	—
計	445,264	61,216	4,438	510,918	△25	510,893
セグメント利益(営業利益)	47,982	3,201	271	51,456	—	51,456